

令和3年度5月 薬事委員会結果

1. 新規採用医薬品(1品目)

No	医薬品名	区分	一般名	製薬会社	規格	薬価	薬効分類など	備考
1	フェキソフェナジン塩酸塩DS5%「トワ」	後	フェキソフェナジン	東和	50mg/g	¥37.80	アレルギー性疾患治療剤	一般名処方、先発名:アレグラ

後:加算などの算定対象となる後発医薬品(ジェネリック医薬品) 先:後発品が存在する先発医薬品 先:後発品が存在しない先発医薬品(算定にかかるシエア換算の対象外)

2. 新規院外採用医薬品(10品目)

No	医薬品名	区分	一般名	製薬会社	規格	薬価	薬効分類	備考
1	ピラノア錠20mg	先	ピラスチン	大鵬	20mg 1錠	¥66.80	アレルギー性疾患治療剤	
2	ルネスタ錠 1mg	先	エスゾピクロン	エーザイ	1mg 1錠	¥45.60	不眠症治療剤	
3	ルネスタ錠 2mg	先			2mg 1錠	¥72.50		
4	ブコラム口腔用液 2.5mg	先			ミタゾラム	武田		0.5mL 1筒
5	ブコラム口腔用液 5mg	先	1.0mL 1筒	¥1,977.80			1歳～5歳未満	
6	ブコラム口腔用液 7.5mg	先	1.5mL 1筒	¥2,750.00			5歳～10歳未満	
7	ブコラム口腔用液 10mg	先	2.0mL 1筒	¥3,484.60			10歳～18歳未満	
8	デベルザ錠20mg	先	トホグリフロジン	興和	20mg 1錠	¥185.40	2型糖尿病治療剤	アプルウェイ錠20mg(同一成分)販売中止のため
9	フェルビナクテープ35mg「三笠」	後	フェルビナク	三笠	14枚/袋	¥138.60	経皮吸収型鎮痛消炎剤	スマルテープ35mg(2021.9経過措置)より名称変更
10	フェルビナクローション3%「三笠」	後			60mL/本	¥198.00		スマルローション(2021.9経過措置)より名称変更

3. 販売中止(経過措置品目)医薬品(4品目)

No	販売中止医薬品	区分	経過措置満了日	薬効分類	代替医薬品	会社名	薬価	備考
1	スマルテープ 35mg	院外	2021年9月	経皮吸収型鎮痛消炎剤	フェルビナクテープ35mg「三笠」(名称変更)	三笠	¥138.60	7cm×10cm 14枚/袋
2	スマルローション3% 60mL				フェルビナクローション3%「三笠」(名称変更)		¥198.00	60mL/本
3	エアーサロンパス100mL		2022年3月	エアゾール式鎮痛消炎剤	—			
4	アプルウェイ錠20mg		2023年3月	2型糖尿病治療剤	デベルザ錠20mg	興和	¥185.40	併売品(同一成分)

4. 医薬品情報室より 重要な添付文書改訂について: DSU(医薬品安全対策情報) No.297-8(2021.3-4)

医薬品一般名	サルブタモール硫酸塩		225 気管支拡張剤
改訂箇所	改訂内容		
[重大な副作用]	追記	ショック、アナフィラキシー: ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。	

<院外>採用医薬品:ベネトリン錠、ベネトリン吸入液

[妊婦、産婦、授乳婦等への投与(または使用)] 一部改訂または追記

シクロオキシゲナーゼ阻害剤(経口剤、坐剤)を妊婦に使用し、胎児の腎機能障害及び尿量減少、それに伴う羊水過少症が起きたとの報告がある。

採用医薬品:バイアスピリン錠、アドフィードパップ、ヤクバンテープ、ミルタックスパップ、スマルスチック、ボルタレンゲル、

インドメタシン外用液、サリチル酸ワセリン軟膏「東豊」、スピール膏

<院外>採用医薬品:ゼポラストテープ・パップ、フルルバンパップ、モーラステープ・テープL・パップ30mg・パップ60mg、スマルテープ、セルタッチテープ・パップ、

ナパゲルンローション、フェルビナクテープ、ボルタレンローション・テープ、ナボールゲル、インテバンクリーム・軟膏・外用液、

カトレップパップ、ロキソニンゲル・テープ・パップ、バファリン配合錠A81

投与する際には、必要最小限にとどめ、適宜羊水量を確認するなど慎重に投与すること。

シクロオキシゲナーゼ阻害剤(経口剤、坐剤)を妊婦に使用し、胎児の腎機能障害及び尿量減少、それに伴う羊水過少症が起きたとの報告がある。

採用医薬品:PL配合顆粒 院内採用医薬品:ロキソプロフェンNa錠、セレコキシブ錠

<院外>採用医薬品:ロキソニン錠、セレコックス錠、ブルフェン錠、バファリン配合錠A330、フルカムカプセル、SG配合顆粒、オステラック錠、ハイペン錠、スルガム錠、レリフェン錠、バキソカプセル、ニフラン錠、ポンタールシロップ、ロコアテープ

[妊婦、産婦、授乳婦等への投与(または使用)] 新設または一部改訂

妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対しては、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。妊婦に対する安全性は確立していない。

シクロオキシゲナーゼ阻害剤(経口剤、坐剤)を妊婦に使用し、胎児の腎機能障害及び尿量減少、それに伴う羊水過少症が起きたとの報告がある。

採用医薬品:MS温シップ

<院外>採用医薬品:スタデルムクリーム・軟膏、GSプラスターC「ユートク」、エアーサロンパス、スチックゼノールA、ゼスタッククリーム

5. 採用医薬品の流通について

①アレジオンドライシロップ5%およびエピナスチンDS小児用1%「各社」: 製品回収および供給停止

②テグレート細粒50%: 地震による供給遅延

<③～⑧:「日医工」品質評価のため供給遅延となる採用医薬品>

③ポリカルボフィルCa細粒83.3%(先発名:コロネル細粒83.3%・ポリフル細粒83.3%)

④ミノアレ散66.7%

⑤モサプリドクエン酸塩散1%(先発名:ガスモチン散1%)

⑥ベニジピン塩酸塩錠4mg(先発名:コニール錠4mg)

⑦テモカプリル塩酸塩錠2mg(先発名:エースクール錠2mg)

⑧メキシレチン塩酸塩カプセル50mg(先発名:メキシチールカプセル50mg)

⑨⑩<院外>ノイエルカプセル200mg・細粒40%:供給再開